

次号予告

特集 資源管理の理論と実際

数値計画とシミュレーションのハイブリッド法—ロジスティクス計画への応用を中心として—

.....森戸 晋 (早稲田大学)

ロジスティクスにおける資源配分問題に関するゲーム理論的アプローチ

.....毛利裕昭 (早稲田大学), 渡辺隆裕 (東京都立大学)

TOC の生産管理手法に関する世の中の研究状況.....船木謙一 (日立製作所)

サプライチェーンにおける定量モデル研究の現状と展開下村雅彦 (三菱総合研究所)

循環社会における企業・消費者・行政の役割山口耕二 (日本電気)

国際原油価格適正化検討のための世界統合 LP モデルの構築

.....曾我正美 (新日鉱テクノリサーチ), 中塚誠次 (セントラル・コンピュータ・サービス)

編集後記

○21世紀に入っても日本経済の低迷は依然として続き、政府の発表する経済回復基調がどこまで本当なのか定かではない。デジタル家電や自動車等、元気な産業分野がないわけではないが、日本はかつての国際競争力を失いつつあるかに見える。戦後期から1980年代まで、経済成長の推進力として機能してきた「社会システムや企業経営における日本的なもの」が様々な局面で壊れ始める一方、5年後の日本、10年後の日本に関して、誰もが明瞭なビジョンを描けずにいるのが現状である。特に、資産と費用の両面で不変資本を可変資本化する圧力が高まり、日本企業において、伝統的な長期雇用を前提とする人材育成や年功・序列型評価制度が崩壊しつつあることは周知の事実である。テレビのドキュメントなどで、リストラに遭った年配者がハロー・ワークに通い詰め、それでもなかなか仕事が見つからない様子を見るにつけ、胸が痛む思いを抱

えながら、本当に皆がもっと元気の出るような競争力回復の方途はないのか、と自問してきた。

○そこで今回は、「人材育成と人事評価の新潮流」の特集を組み、人材育成と人事評価のあるべき姿を改めて問い、21世紀における日本再生へ向けた課題を人材育成・人事評価の側面から浮き彫りにすることを試みた。斬新な取り組みを展開している大手企業や、国際競争に直面する中小企業の現場から、それぞれの思いを込めた論文が寄せられた。また、経営者以上に危機意識を募らせて人材育成・人事評価に取り組む経営コンサルタントと、企業における豊富な経験を生かして日本のIT人材の育成に取り組む方からの貴重な提言を得ることもできた。アメリカ経験に基づく日米比較分析を基礎に提言を試みた拙論と合わせて、読者諸氏が新しい人材育成・人事評価システムの理念、問題意識、仕組を原点に戻って再考察するきっかけになればと願っている。
(住田 潮)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 杉野 隆(国士館大学)

委員 井階美歩(㈱NTTデータ), 池上敦子(成蹊大学), 大澤義明(筑波大学), 大村弘之(日本電信電話㈱), 岡田 勇(創価大学), 小沢利久(駒澤大学), 住田 潮(筑波大学), 高橋一喜(東京ガス㈱), 土屋利明(日本電信電話㈱), 所 健一(財電力中央研究所), 中川義之(キヤノンシステムソリューションズ㈱), 中森眞理雄(東京農工大学), 生田目崇(専修大学), 根本俊男(文教大学), 廣津信義(㈱日本スポーツ振興センター), 松村良平(東京工業大学), 三浦英俊(明海大学), 村井雅彦(㈱東芝)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。



平成16年10月号 第49巻 第10号 通巻526号

代表者 今野 浩

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

<http://www.orsj.or.jp/>

編集人 杉野 隆

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151-0051

○本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価970円(本体924円)年間予約購読料11,040円(税込)

○本誌への広告お申し込みは明報社(3546-1337)へ